

平成28年度 第2回さいたま市健康づくり推進協議会 議事概要

◎ 日時

平成29年1月12日（木）10時00分～11時30分

◎ 場所

さいたま市役所議会棟2階第4委員会室

◎ 出席者

《委員》浅子委員、片柳委員、近藤委員、佐々木委員、鳥谷部委員（会長）、細渕委員、松本委員、三浦委員、山崎委員、山本委員、渡邊（廣次）委員、渡辺（裕）委員（会長職務代理）

《関係課》緑区保健センター：金子所長、西区保健センター：林係長、
地域保健支援課：野中歯科衛生士

《事務局》保健部：篠葉部長、健康増進課：今野課長、橋詰係長、白鳥主査、伴田主任

《傍聴人》1人

◎ 欠席者

《委員》小山委員、鈴木委員、関委員

◎ 会議資料

《事前配付》

・次第

・さいたま市健康づくり推進協議会委員名簿

・資料1-① さいたま市ヘルスプラン21（第2次）の進行管理について（14P）

・資料1-② 平成28年度事業の各団体の取組事例（57P）

・資料2 さいたま市ヘルスプラン21（第2次）の目標指標に関する結果概要（案）
（6P）

《当日配付》

・さいたま市健康づくり推進協議会関係課職員名簿（1枚）

・座席表（1枚）

・資料3 さいたま市健康マイレージ資料（3P）

・さいたま市ヘルスプラン21サポーター通信第13号
（1枚）

続《当日配布》

- ・資料4 さいたま市禁煙外来リスト
- ・パブリックコメント資料
「第2次さいたま市自殺対策推進計画（素案）」
- ・さいたま市健康づくり及び食育についての調査について

1 開会

- ・今野課長より挨拶
- ・前委員の異動による委員交代のため、出席委員の自己紹介
- ・議事録の取扱いについて
- ・議事録は、会長に一括で承認いただき、市ウェブサイト上で議事概要を公開することによろしいか。

委員：異議なし。

2 議事

(1) ①さいたま市ヘルスプラン21（第2次）の進行管理について

事務局より資料に基づき説明。

《資料》

- ・資料1-① さいたま市ヘルスプラン21（第2次）の進行管理について
- ・資料1-② さいたま市ヘルスプラン21（第2次）に関する取組事例
- ・資料2 さいたま市ヘルスプラン21（第2次）の目標指標に関する結果概要
- ・計画書及び概要版

【質疑・応答】

委員より質疑なし。

②協議会参画団体の取組報告

浅子委員：資料1-②（P1、2）2つの継続事業がある。

レクリエーション普及事業は、各加盟団体が主催している。各レクリエーションを通じた健康づくり等を目的とした教室、講習会を通して他の団体や市民向けに普及するものである。

レクリエーションフェスティバルは、3年前から同じ1会場を2年間連続して開催する方式に変更した。約11種類のレクリエーション団体が集まり、会場の近隣に住む住民が親子で参加する人が多くなっている。フェスティバルはレクリエーションの普及および新たな加入者の促進に

役立っていると考えている。

片柳委員：資料1-② (P3)

地域の住民の中から主婦を中心とし、地域の母子保健や高齢者への見守り活動を行っており、半官半民の立場である。さいたま市に“孫育て”について取り組む必要性を伝えたら、それに関する冊子（さいたま市祖父母手帳）を市が作成し、好評で増版されている。昨年度はその冊子に関する勉強会を実施した。愛育会員は年々減少しており、現在約400人。10区中7区にしかないのが実情。もっと若い方にも参加をしてほしいと思っている。

近藤委員：資料1-② (P5)

継続事業「どんとこい認知症」の講演会を開催した。浦和駅通路にて薬物乱用の啓蒙活動を実施。若い人に啓蒙活動をするべく政令指定都市薬剤師会が一斉に各地で薬物乱用キャンペーンを実施し、さいたま市薬剤師会はさいたま新都心の自由通路にて7月23日（土）に実施し、1時間ほどで5,000人分の配布物を配りきった。区民まつりにてセルフメディケーションの啓発、学校保健では薬物乱用防止について啓発を実施した。

佐々木委員：協会けんぽでは中小企業の保健事業を行っている。中心となるのはデータヘルス計画であり、健診・受診の結果を元に効果的な保健事業を行っていくもの。糖尿病の重症化予防と・糖尿病患者の未受診者の受診勧奨が大きな柱となっている。また、“コラボヘルス”という、事業主と連携して健康づくりをすすめるもので、同規模の他社の健康状態と比較ができる“事業所カルテ”を配布している。このような取組を通して事業主が健康宣言として健康経営に取り組む手伝いができるよう準備を進めているところである。

渡辺（裕）委員：資料1-② (P10、15)

5～6年前から継続している市民フォーラムは昨年度は糖尿病と歯周病をテーマに実施した。同じく継続事業である大宮医師会が実施する口腔がん検診は、毎回希望者が多く、90人定員としているが、160人程度の申し込みがある。関係団体の連携として、口腔機能向上教室や歯科衛生士会と協力して8020歯の健康教室を実施している。

渡辺（廣）委員：社会福祉協議会と連携してひとり暮らし高齢者の外出の機会としてふれあい会食を実施している。高齢者のふれあい活動として体操や健康づくりに関する講話を聞くサロン活動も行っている。認知症の講座を受講している民生委員も多い。今後は認知症の人が増え、多くのサポートが必要になると予想されるので、地域で見守る必要性があると考えている。しかし、「まだ（自分は）高齢者ではない」と介入を拒まれるケースや、民生委員のなり手が少なく欠員が増えているのが実情。

山崎委員：資料1-② (P9)

農産物直売所に買い物に来る母親が増えていると感じる。子どもに安全なものを食べさせたいという意識の表れだろう。学校を通じて小学生を対象に食育事業を実施しており、種まきから収穫を通して嫌いな野菜も食べるようになる効果もある。組合が高齢化しており、より近場で健診を受けられるように工夫をしている。組合員には産業医の助言・指導を受けている。

三浦委員：資料1-②（P8）

生活習慣病予防事業を多岐に行っている。10区で共催しているパパとチャレンジ！わくわくクッキングは好評。食生活は一人では長続きしないので地域の人たちと一緒に活動していくことが大切だと考えている。

松本委員：地域活動としてポスターの掲示等、協力できることはしていきたい。孤独死・孤立氏を防ぐために自治会連合会とさいたま市で協議をした経緯があるが、近年では国や自治体からも地域の見守りを期待される立場になってきたと感じている。しかし、自治会の加入率は減っているのが実情。そのため、今後の自治会連合会で専門部会を立ち上げ、今後の活動について検討していく予定である。

議長：資料1-②（P.7）

各種健診を通じてがん・生活習慣病予防等の早期発見に努めるため、4医師会で継続事業を実施している。引き続き、平成29年度も同様に実施していく予定。

細渕委員：駅に出かけた際、喫煙所でたばこを吸っている人数を累積してみると、平成27年度は1,500人、28年度は1,800人だった。多いときには喫煙所に20人位いる。受動喫煙対策に力を入れていく必要があると考えている。

健康マイレージに家族が参加し、メタボリックシンドロームが改善した。

がん検診精密検査（2次検査）の予約がいっぱい取りづらいという話を聞く。早期発見のためにもっと迅速に予約を取れる病院が必要だと思う。

山本委員：市民公募委員を2年間務めて行政・各団体が様々な取組をしていることが分かったが、それが市民に周知されているかは疑問である。シニア大学に在籍しているが、興味がある分野として「健康」が掲げられている。5000人ほどが在籍しているので、シニア大学を通じて情報提供していくと効果がもつ出るのではないか。

自殺対策推進計画概要版（P.3）で39歳未満の自殺者数が多いようだが、さいたま市の人口構成によるものなのか。

事務局：計画書の素案には標準化死亡比（SMR）を用いて分析した部分もあるが、今回のご質問であるその部分に関してSMRを用いたデータはないと思われる。今後、確認して返答したい。

議長：委員から他の委員への意見、発言等はあるか。

渡辺（裕）委員：佐々木委員に伺いたい。中小企業向けの健（検）診を行うとのことであるが、
歯科検診は入っているか。

佐々木委員：埼玉県歯科医師会と連携協定を締結し、今後、健（検）診の中に盛り込もう
としている段階。今後、勉強会を開催したり歯周病のセルフチェックに関する
ツールを事業所訪問の時に紹介する等を考えている。

渡辺（裕）委員：ぜひ企業健診ができるような仕組みを作ってほしい。

片柳委員：生後3～4か月児のいる全家庭に約束をせずに家庭訪問をする「ハローエン
ゼル訪問」を実施しており、成功事例だと思う。民生委員も高齢者への訪問に
関して、ハローエンゼル訪問のように民間と行政が協働できるとよいのではな
いか。

渡邊（廣）委員：新潟、千葉で開始した協力員制度をさいたま市で始めることについて検討し
ているが個人情報保護の観点もあり、実現が難しいところである。まずは協力
員制度の動向を見ていきたい。松本委員が話されていた地域の見守りの役割に
ついても社会福祉協議会を通じて民生委員に依頼が来ている。結局は自治会に
依頼することになると思うので、協力をお願いしたい。

松本委員：見守りが必要な状況であることは理解しており、自分たちの地域は自分たち
で守るという仕組みは必要だと感じている。

（2）さいたま市健康マイレージについて

事務局より資料に基づき説明。

《資料》

- ・資料3 さいたま市健康マイレージについて

【質疑・応答】

細渕委員：家族が励みになったようで良い事業だと思う。

（3）その他

事務局から

- ・禁煙外来リストについて
- ・受動喫煙防止対策の最近の動きについて
- ・パブリックコメント資料「第2次さいたま市自殺対策推進計画（素案）」について
- ・次回協議会の開催について

議長：そろそろ終了時間となったので、議事を終了させていただく。

3、部長挨拶

4、鳥谷部会長挨拶

5、閉会